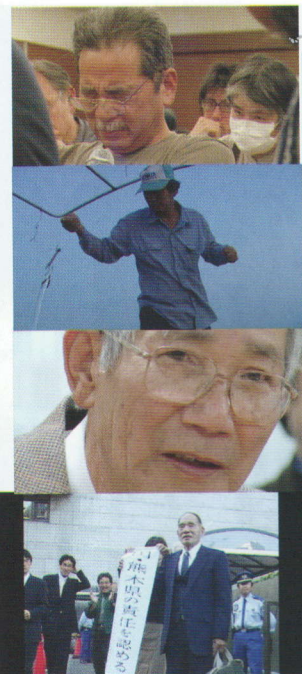




はじまりの海、

終わらない世界

原一男の
あらたな代表作が生まれた

『ゆきゆきて、神軍』の原一男が
20年もの歳月をかけ作り上げた、372分の叙事詩
『水俣曼荼羅』がついに、公開される。
世界的ドキュメンタリスト・原一男が最新作で描いて見せたのは、
あの水俣だった。

日本四大公害病のひとつ、水俣病。

いまなおこの場所には、病が濃い陰を落としている。

不自由なからだのまま大人になった胎児性、あるいは

小児性の患者さんたち。

末梢神経ではなく脳に病因がある、

そう証明しようとする大学病院の医師。

病をめぐって様々な感情が交錯する。

国と県を相手取っての患者への補償を求める裁判は、

いまなお係争中だ。

そして、終わりの見えない裁判闘争と並行して、

何人も患者さんが亡くなっていく。

しかし同時に、患者さんとその家族が暮らす水俣は、

喜び・笑いに溢れた世界でもある。

豊かな海の恵みをもたらす水俣湾を中心に、幾重もの

人生・物語がスクリーンの上を流れていく。

そんな水俣の日々の営みを原は20年間、じつと記録してきた。

「水俣を忘れてはいけない」という想いで

― 壮大かつ長大なロマン『水俣曼荼羅』、

原一男のあらたな代表作が生まれた。



©疾走プロダクション

MINAMATA Mandara 2025年11月22日(土)・23日(日)

〈第1部・115分〉 9:30~11:25 35分休憩

〈第2部・139分〉 12:00~14:19 15分休憩

〈第3部・116分〉 14:35~16:31

〈原一男監督トーク〉 17:00~19:00 終了予定

特別料金 3,000円(各日40名) ギャラリー蒼



←ギャラリー蒼入口・3階へ

NPOせんだい映画資料室
uganhits@gmail.com

【電話予約】080(6608)4845

申し込み:「予約日」「人数」

「氏名」「連絡先」をお伝え下さい。

会場内 飲食可能です。〈第1部〉終了後には「バルギー食堂・どうくつ」サンドイッチBOX(1,000円)を販売します。